

みやざき 県議会の動き

No.104

8

2025

令和7年8月1日発行
宮崎県議会広報紙／年6回偶数月発行

6月定例会

県議会ではクールビズに取り組んでいます。

6月定例会の結果概要

6月定例会は、6月6日から6月24日までの19日間にわたって開催され、15名の議員が一般質問を行い、県政の幅広い分野にわたり活発な議論が行われたほか、常任委員会及び特別委員会が開かれ、付託された議案の審査や所管事項の調査などが行われました。

この結果、知事提出議案については、経営状況の急変等に直面している医療機関等に対する緊急的な支援に要する経費や、一般社団法人宮崎県酪農公社の解散に伴う預託農家等に対する費用の補助経費等を盛り込んだ「令和7年度宮崎県一般会計補正予算(第1号)」など15件を原案のとおり可決又は同意しました。

また、議員発議案については、2件の意見書を原案のとおり可決しました。

可決又は同意された主な提出議案

- ・令和7年度宮崎県一般会計補正予算(第1号)
- ・県税の課税免除等の特例に関する条例の一部を改正する条例
- ・使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例
- ・都市公園条例の一部を改正する条例
- ・職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- ・宮崎県女性自立支援施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例
- ・公安委員会委員の任命の同意について

など15件

可決された意見書

- ・地方財政の充実・強化を求める意見書
- ・少人数学級・教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の拡充を求める意見書

一般質問

各議員の主な質問と答弁の要旨を紹介します。
県議会ホームページまたはYouTube「宮崎県議会公式ちゃんねる」から、一般質問の模様をご覧ください。



▲録画配信



▲YouTube



たけだ こういち
武田 浩一
議員
宮崎県議会自由民主党
串間市選出

県南地域の医師の状況と医師確保対策について

問 県南地域の医師の状況と医師確保対策について伺いたい。

答 福祉保健部長 日南串間医療圏の医師数は173人で、国の医師偏在指標では医師少数区域とはされていないが、地域の状況等から医師確保が必要な地域と認識している。地域の医療提供体制の維持・確保は地域住民にとって必要不可欠であることから、引き続き、市町村、宮崎大学等の関係機関と連携し、取り組んでいく。



かわそえ ひろし
川添 博
議員
宮崎県議会自由民主党
宮崎市選出

かきはら 鱈原川の樋門周辺で確認される湧水について

問 鱈原川の郡司分2号樋門周辺で確認される湧水について、今後の対応を伺いたい。

答 県土整備部長 今年3月に地元関係者と現地調査を実施した結果、複数の湧水管所が確認され、速やかに応急対策を講じることとしている。また、地震津波対策が必要な施設でもあることから、耐震化についても今年度、地質調査や設計検討を実施することとし、湧水対策を含めた抜本的な施設改修に取り組んでいく。



やまぐち としき
山口 俊樹
議員
宮崎県議会自由民主党
宮崎市選出

宮崎港分譲地について

問 宮崎港分譲地の売却状況と不動産業者の仲介及び貸付けの検討状況について伺いたい。

答 県土整備部長 今年2月、3年ぶりに1件売却し、また、企業からの問合せも増加している。検討していた分譲地の貸付制度については、要領改正を行い、今年7月に導入することとしており、売却促進を目的とした不動産業者による仲介についても関係団体と協定締結し実施する。今後とも積極的なセールス活動を行っていく。



くどう たかひさ
工藤 隆久
議員
公明党宮崎県議団
延岡市選出

障がい者の芸術文化活動について

問 障害福祉サービス事業所・放課後等デイサービスにおいて、自己肯定感を育む自由な芸術文化活動ができるよう障がい者の文化芸術活動普及に向けた知事の思いを伺いたい。

答 知事 障がい者による芸術文化活動は、個性・能力を活かし自己肯定感を高め社会参加を促すことから大変重要なものと考えている。障がい者芸術文化支援センターを設置し、芸術家等を派遣する等普及に取り組んでいる。



ふたみ やすゆき
二見 康之
議員
宮崎県議会自由民主党
都城市選出

外国人材の更なる受入れに向けた取組について

問 本県への外国人材の更なる受入れに向けて、今後の取組を伺いたい。

答 総合政策部長 ベトナム国立農業大学との連携による農業分野の人材確保のほか、介護分野では、事業所とともにベトナムを訪問して本県で働く魅力をPRするなど、海外との連携を強化している。今後は、他産業への展開に加え、新たにインドネシアとの関係構築を図るなど、環境の整備・充実に取り組む。



ふくだ しんいち
福田 新一
議員
宮崎県議会自由民主党
北諸県郡選出

下水道管路の老朽化状況と事故発生等緊急時の対応

問 下水道管路の老朽化状況と事故発生等緊急時の対応について伺いたい。

答 県土整備部長 県内の下水道は17市町村で管理され、耐用年数50年を経過した下水道管路の割合は5.8%である。市町村が策定した下水道施設危機管理マニュアルに基づき、関係機関と連携し、復旧対策を実施している。県では、夏頃に示される国の方針を踏まえ、研修会を開催し、市町村へ助言を行うなど、更なる対応強化に取り組む。



やまうち いっとく
山内 いっとく
議員
宮崎県議会自由民主党
都城市選出

宮崎国スポ・障スポにおける喫煙対策について

問 宮崎国スポ・障スポにおける喫煙対策について伺いたい。

答 知事 適切に喫煙対策を講じる必要があると考えている。そのため、宮崎国スポの総合開・閉会式会場となる霧島酒造スポーツランド都城については、昨年度から都城市と協議し、屋外に仮設喫煙所を設置する方向で検討を進めている。また、競技会場となる市町村に受動喫煙防止対策を取るよう要請している。



しもおき たつし
下沖 篤史
議員
宮崎県議会自由民主党
小林市・西諸県郡選出

農畜産物の適正な価格形成について

問 米の価格が高騰しているが、米など農畜産物の適正な価格形成に関する知事の考えを伺いたい。

答 知事 生産者等が生産に必要なコスト根拠を示し、小売業者等がそれを踏まえて価格交渉に応じることを努力義務とした法律が6月11日に成立した。国と連携して、合理的な費用を考慮した価格形成について、消費者への理解醸成を図りながら、「持続可能な魅力あるみやざき農業」の実現に取り組んでいく。



いわき たつや
岩切 達哉
議員
県民連合立憲
宮崎市選出

県立高校での学校徴収金について

問 少子化の原因の一つに教育費の負担感がある。授業料が公費負担とされた中で、県立高校にかかる徴収金の現状について伺いたい。

答 教育長 県立高校では、副教材費や修学旅行費、PTA活動や生徒会活動の経費などがあり、県立高校等37校で昨年度徴収した総額は約31億円で、最も高い学校で約2億2千万円である。各学校には、学校指定物品や副教材の選定の在り方など適宜見直すよう依頼している。



まえ やしき えみ
前屋 敷恵美
議員
日本共産党宮崎県議団
宮崎市選出

「消費税減税」による物価高騰対策について

問 物価高騰対策は、目的税ではない消費税の一律5%減税で、一世帯年12万円の減税になり、インボイスも廃止に。社会保障の財源は、大企業や富裕層の優遇税制を改め、応能負担の税収で充てる。国民犠牲の社会保障はない。

答 知事 消費税は社会保障制度の基盤。地方税財源としても行政サービスを支える役割を担っており、恒久的な財源が必要。国会での丁寧な議論を求めたい。



わきたに りこ
脇谷のりこ
議員
未来への風
宮崎市選出

介護職員の不足及び賃金について

問 県内の全産業と比較した介護職員の賃金は。

答 福祉保健部長 福祉施設等介護職員の給与月額は県内の全産業労働者の平均より4万ほど低く、賞与等は20万ほど低い状況である。介護職員の賃金として配分される処遇改善加算の県内事業所の取得率は令和7年4月現在で89.3%となっている。介護人材確保のためには、職員の処遇改善が重要であることから、今後とも、処遇改善加算の取得促進に努めていく。



まつもと てつや
松本 哲也
議員
県民連合立憲
延岡市選出

戦後・被爆80年について

問 被爆80年を迎え平和に対する思いを伺いたい。

答 知事 原爆被害者の困難を乗り越えてこられた生の声は、非常に重く、こうした戦争による尊い犠牲の上に、今の日本の平和と繁栄が築かれていることを決して忘れてはならないと強く認識した。この先を見据えながら、戦争の記憶や平和の尊さ、価値観が異なる他人を思いやることの大切さを次世代へ伝える重要性がますます高まっている。

常任委員会

常任委員会は、県の部局を5つに区分して、付託された議案や請願などの審査や、所管する行政施策についての調査等を行います。ここでは、6月定例会及び県内調査(5月実施)での各委員会の活動を紹介します。

総務政策常任委員会

令和6年度の移住実績について

過去2番目に高かった他県からの移住実績について、移住者のニーズに応えるために、現状や課題、移住者の増減の理由をしっかりと分析した上で、今後さらに移住者数が伸びるような施策を展開するよう要望しました。

県内調査

日向市役所(自治体生成AIの取組)や日南市移住促進住宅などを訪問し、アスリートタウン延岡アリーナでは、国スポ・障スポに向けての整備状況について調査しました。



アスリートタウン延岡アリーナ(延岡市)

厚生常任委員会

里親等支援事業について

里親等委託は里親と子どもの信頼関係を慎重に築きながら進めることが重要であり、里親が安心して相談できる環境の整備が不可欠であるため、十分な数の里親支援センターの設置を検討するなど、里親支援体制の拡充に取り組むよう要望しました。

県内調査

県立宮崎病院(放射線治療機器IMRT)やむかばき青少年自然の家(青少年教育施設)などを訪問し、医療法人社団育成会井上病院では産後ケア事業について調査しました。



むかばき青少年自然の家(延岡市)

商工建設常任委員会

木崎浜周辺道路及び駐車場の整備について

事業の実施にあたっては、サーフィンの聖地とされる木崎浜周辺の整備と青島全体の観光振興について、県としての基本的な考え方をしっかりと整理した上で、進めるよう要望しました。

県内調査

県営一ヶ岡団地(PFI手法を導入した団地の再整備)や梅北・都城インター工業団地(都城市が整備を進める工業団地)などを訪問し、宮崎市高千穂通りでは、歩道空間の再整備を進める「まちなかウォーカーブル推進事業」について調査しました。



高千穂通り(宮崎市)

発達障がい早期発見・早期支援について



いまむら みつひろ
今村 光雄
議員

公明党宮崎県議団
都城市選出

問 初診に時間がかかるケースもあるので、その間、保護者に対して何かしらのアプローチはできないか。例えば、地域の実情に合わせたガイドブックの作成や活用等。

答 福祉保健部長 早期支援につなげるため講演会でのリーフレットの配布やホームページ上で相談窓口等の案内を行うとともに、保健師や保育士、小児科医等を対象にそれぞれの役割に応じた発達障がいへの理解や相談対応に関する研修に取り組んでいる。

県ヨット艇庫の改修要望について



くろいわ やすお
黒岩 保雄
議員

宮崎県議会自由民主党
日南市選出

問 日南市大堂津の県ヨット艇庫の改修要望について、現在の検討状況を伺いたい。

答 教育長 県有施設の改修は、個別施設計画に基づき計画的に整備を進めており、ヨット艇庫の改修は、漁協や関係機関との調整、既存艇庫の撤去、改修中のヨットの保管場所の確保、地盤調査等、解決すべき課題が多くある。今後、これらの課題解決に向けて、競技団体や日南市等と協議を行ってまいりたい。

高千穂高校の魅力を高めるための学科再編について



さとう まさひろ
佐藤 雅洋
議員

宮崎県議会自由民主党
西臼杵郡選出

問 高千穂高校における魅力を高めるための学科再編の進捗状況と中山間地域における県立高校の在り方について教育長の考え方を伺う。

答 教育長 高千穂高校では、令和9年度から本県で初めて農業と商業の学科を融合した「地域ビジネス創造科」を設置し、西臼杵地区の核となる学校として新たな学びを展開する。この学科のカリキュラム等の検討を進めており、令和9年4月に第1期生が入学する予定である。

お金のかからない政治の実現にご理解を!

政治家が選挙区内の人に、お金や物を贈ったり、有権者が政治家に寄附を求めることは、公職選挙法により、禁止されています。

例えば、

- 地域のスポーツ大会やお祭りへの寄附、飲食物の差し入れなど、各種行事に金品を贈ること
- 中元、歳暮、花輪、生花、祝儀などを贈ること

は禁止されています。

また、自筆による返信を除き、暑中見舞いなどのあいさつ状を出すことも、禁止されています。

さらに、宮崎県議会では、

- 上記行為を選挙区外でも行わないこと
- 選挙区内外を問わず、祝電・弔電を打たないこと
- 贈らない、求めない、受け取らないの「三ない運動」を順守すること

を申し合わせ、お金のかからない政治の実現を目指しています。県民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



特別委員会

特別委員会は、県政の重要課題のうち特定の事項に関し、専門的な調査・審査を行う委員会です。ここでは、定例会中及び閉会中における各特別委員会の最近の活動を紹介します。

南海トラフ対策特別委員会

閉会中の5月には、南海トラフ巨大地震と被害想定などについて、総務部から説明を受けました。

6月定例会では、宮崎公立大学人文学部地域連携・防災研究センターの山下裕亮准教授を参考人として招致し、「南海トラフ地震に備えるための基礎知識」について説明を受け、N-net(南海トラフ海底地震津波観測網)や津波に強いまちづくりなどについて質疑が行われました。



外国人材確保・雇用対策特別委員会

閉会中の5月には、本県の外国人材受入れ状況などについて、総合政策部等から説明を受けました。

6月定例会では、午前の部に福岡出入国在留管理局宮崎出張所や宮崎労働局等の関係団体から「外国人材の受入れ及び共生社会の実現に向けた国の取組」などについて説明を受けました。

午後の部では、ワイエムウォーカー株式会社(神奈川県)から「外国人採用について」などの説明を受け、質疑が行われました。



九州各県議会議長会議

九州各県議会の正副議長から構成される九州各県議会議長会議が、5月22日に鹿児島県で開催され、本県からは外山議長及び日高副議長が出席しました。会議では、国に対して食料安全保障の確保に向けた政策の推進等を求める本県提出の議案など、計24件の議案が承認され、7月23日に東京都で開催された第181回全国都道府県議会議長会定例総会に、九州ブロックからの議案として提出されました。



環境農林水産常任委員会

宮崎県酪農公社清算負担金について

一般社団法人宮崎県酪農公社の解散により、出資割合に応じた費用負担を行うことについて、公社は長い歴史があり、本県の酪農の普及推進に大きく貢献してきたことから、公社が解散したことで酪農家へ弊害が出ないよう要望しました。

県内調査

株式会社SEミート宮崎(ハラル認証に対応した食肉処理施設)などを訪問し、水産試験場内水面支場では、チョウザメ養殖等の取組について調査しました。



株式会社SEミート宮崎(西都市)

文教警察企業常任委員会

いじめ問題対策強化事業について

直接いじめの相談ができない生徒への対応について、生徒が授業のため所有しているタブレットなどのICT機器等を活用して自発的に相談ができる体制の整備について検討するよう要望しました。

県内調査

酒谷発電所(治水ダムを利用した県内初めての発電所)や交通機動隊などを訪問し、県立門川高等学校では、南海トラフ巨大地震が発生した場合の安全対策などについて調査しました。



酒谷発電所(日南市)

New!

宮崎県議会公式Xを開設しました

宮崎県議会では、若い世代を含む県民の皆さまに広く情報を発信するため、これまでのフェイスブックやYouTubeに加え、新たに「宮崎県議会公式X(エックス)」を開設しました。

本会議、委員会などのスケジュールや議員紹介等の情報を発信していきます。

ぜひ、フォローして最新情報をご覧ください。



日本の
ひなた
宮崎県



▲県議会HP



▲YouTube



▲facebook



▲議会議中継

9月定例会は、9月5日(金)から10月8日(水)までの日程で開催される予定です。